

# 人財が活きる人事考課制度の構築を支援

株式会社スミヨシ

(大阪府)

車両設備の設計・組立 徳庵事業所(従業員200名)

## 1. 相談のきっかけ

人事考課制度を見直したい、とのことで、インターネットなどで様々な書式を探したが、良い事例がなく、平成26年8月に、よろず支援拠点へ来訪。

## 2. 課題整理・分析

- 人事考課制度はあるが、考課基準があいまいで、評価者の情実が入り込みやすく、考課者、被考課者ともに納得いくスタイルになっていない。
- 事業所ごとに独自の人事評価制度があり、新しい制度を作ることは柔軟に対応可能である。

## 3. 解決策の提案

- 単に考課表の書式を改めるだけではなく、運用ルールの見直しと併せて検討することが重要
- 考課制度の方向性を下記のように明確にし、社内で話し合われるよう提案  
【方向性】
  - ・全社の目標と個人の目標設定が結びついていること。
  - ・考課制度が人材育成の仕組みとして活用できること。
  - ・考課者、被考課者が面談により、納得できる目標設定・評価ができること。



## 4. 成果

- 提案を基に相談者が、社内のチームリーダーと打ち合わせを行い、考課表の案を作成。
- 考課表案をもとに、よろず支援拠点と3度の打ち合わせを行い、考課表をブラッシュアップを行った。
- 平成26年12月の賞与査定に使用するために、試験的に運用を始めた。
- 当面は、新たな考課指標を基に成果実績の評価を中心に運用を始め、平成27年4月から、被考課者が目標設定と進捗を反映できる制度として本稼働を開始予定。
- 制度の浸透など、運用面で課題が出れば継続的支援を行う予定。

相談者の声：

この度ご指導を得まして作成した人事考課査定表を使用して、無事にボーナス査定を終えることができました。本当にありがとうございました。今後も何か困りごとが発生した場合は再度ご相談に伺いたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。